

くろしお



気仙沼でひらひらしたよ!

10月6日～8日の3連休に、宮城県気仙沼市内で「気仙沼Tシャツアート展」が開催されました。市内5カ所の会場に「気仙沼っ子カツオ元気Tシャツ」など合計約800枚を展示。来場者らは、気仙沼の空に広がったTシャツひらひらの風景を笑顔で見上げていました。写真は復幸マルシェの様子。【関連記事28ページ】

※7月9日の法改正により、7月から外国人住民を含む人口となっています。

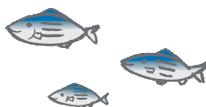
11月の納税

- 国保税・介護保険料・後期高齢者医療保険料
- 第5期料

安心・便利な
口座振替を
ご利用ください。

主な内容

- P. 2 中学生海外派遣事業報告
- P. 6 健康カレンダー
- P. 8 くろしお子どもニュース
- P. 9 介護保険ガイド
- P. 16 役場からのお知らせ
- P. 21 IWKTV番組表
- P. 24 まちの掲示板
- P. 26 まちのできごと
- P. 28 気仙沼Tシャツアート展
- P. 30 くろしおっ子をご紹介します!



あがまちデータ

2012(平成24)年9月30日現在

● 人口	12,742人	前月比(23人減)	
		【男6,033人 女6,709人】	
● 世帯数	5,801世帯		
● 15歳未満の年少人口	1,183人(比率9.28%)		
	【男620人 女563人】		
● 65歳以上の高齢人口	4,578人(比率35.93%)		
	【男1,830人 女2,748人】		
● 人口のうごき			
増加 24人	出生5人	転入17人	職権2人
	【男3人 女2人】	【男9人 女8人】	【男2人】
減少 47人	死亡23人	転出21人	職権3人
	【男12人 女11人】	【男12人 女9人】	【女3人】



ニュージーランドに行ってきました!



8月16日～26日、町内の中学3年生12人が、夏休みを利用してニュージーランド(以下「NZ」)に行き、異国の文化や生活習慣を体験しました。参加者からの報告です。



NZ派遣団長レポート 「平成24年度中学生海外派遣事業に参加して」

教育長 坂本 勝

私たち訪問団(佐賀中学校7人、大方中学校5人、引率者4人)は、8月16日から26日まで、NZを訪問しました。

この事業は生徒たちが異国の文化や生活に直接肌で触れることにより、国際化、情報化社会に対応できる広い視野

と感覚を持った人材を育成することを目的として実施されています。今年度は応募者24人の中から選抜された12人の生徒が訪問しました。

◆16日(木)出発

早朝の出発式の後、家族や先生方、町長に見送られながら佐賀支所を出発。伊丹空港経由で関西国際空港へ到着。18時45分に関西国際空港をNZへ向けて出発しました。

◆17日(金)NZ着・オークランドからロトルアへ

翌朝8時30分にオークランド空港へ到着、11時間の空の旅でした。オークランドは雨上がりの天気で、思っていたよりも暖かく、日本の3月ごろの気候でした。その後現地JTB専用のバスでロトルアへ。車窓からの景色は広々として、緑豊かな丘陵地帯が続き、緑の中に羊や牛がのんびりと草を食んでいます。

昼食後、市内にあるNZの自然をそのまま残した公園・レインボースプリングスへ。国鳥に指定されている飛べない鳥のキウイをはじめ、珍しい動植物をたくさん見ることができました。

その日の宿泊地・ロトルアはNZで2番目に大きいロトルア湖周辺に広がる町で、今なお先住民マオリの伝統文化が残っています。夜はマオリの昔の暮らしや、歌や踊りを見ることのできる「タマキ・マオリ村」を見学。戦闘の踊りである「ハカ」という迫力のある踊りを見て、生徒たちも感動した様子でした。夕食は食材を蒸し焼きにしたハンギ料理をいただきました。

◆18日(土)フェアフィールド・ド・ホームステイ先へ

ホテルを8時50分に出発。途中ロトルア湖畔で休憩を取った後、ハミルトン市にある交流先のフェアフィールド中学校へ向かいました。14時に到着すると、すでに担当者イアン先生夫妻と、ホストファミリー数家族が待っており、子どもたちは対面後、すぐにホームステイ先へと向かいました。生徒たちは少し緊張し不安そうな面持ちでしたが、なんとか頑張っただけで思いながら見送りました。

◆19日(日)ホストファミリーと自由行動

20日(月)フェアフィールド中学校で歓迎式と授業

8時30分に学校へ着くと数名の生徒が既にESOL(英語を母国語としない人のためのクラス)にきています(フェアフィールド中学校は留学生を積極的に受け入れており、現在も数カ国からの留学生在籍しています)。生徒たちはみな表情が明るく、「なんとか言葉も通じ、意思疎通ができた」「ショッピングセンターに連れて行ってもらった」「ボーリングに行っていた」「N

Zの人は夜、寝るのが早い」と、土日の出来事などを話しています。ホームシックになっっている子はいないようなので安心しました。

2時間目の授業で歓迎セレモニーがあり、マオリ族のハカの歌と踊りを披露してもらった後、私たちはイアン先生の案内で、学校施設を見学しました。学校は敷地が広く、3、4つの教室が一緒になった程度の平屋の校舎がいくつも配置されており、大ホール、広いスペースの図書室や特別教室に、放送設備も充実。特にパソコンは500台以上あり、パソコンを使っている授業が多いのが特徴です。

◆21日(火)各クラスで授業

生徒たちもずいぶんクラスになじんだようで、隣の席の生徒に聞いたりしながら、授業を受けています。グループや個人でそれぞれの課題を持って、自主的に授業に向かっていきます。椅子に座っている子や、床に座り込んでいる子など、日本では考えられない授業風景です。休み時間には子どもたちが「コンニチワ」と気さくに声をかけてくれます。

午後はESOLでイアン先生による英語の授業。英語を第2言語としている生徒たちへの授業で、すべて英語で行います。

◆22日(水)体験学習

NZに来て初めての快晴です。まず、学校から近いドンキーファームを見学しました。NZの典型的な農家を一周りも二周りも大きくしたような農場で、羊や牛、山羊、鹿などたくさん動物にふれ合うことができました。

キャンディ工場ではチョコレートとキャンディづくりを見学後、生徒たちはお土産にたくさんキャンディを買って帰りました。

◆23日(木)各教室で授業

快晴。気温も高く春のような陽気です。1時間目の授業の様子を見て回りましたが、黒潮町の生徒たちもクラスになじんだ様子です。

2時間目の休憩時間に、今年10月に来日するローレン先生とラー先生とで打ち合わせをしました。

◆24日(金)お別れ式・ハミルトン発オークランドへ

いよいよフェアフィールド中学校最後の日となりました。

午前9時から約750人の全校生徒がホールに集合し、レモニーが始まりました。まず、期間中に優れた成績を残した生徒を各先生方が全員の前で表彰しました。表彰式の後、生徒たちはハッピーを着て、植田くんのあいさつに続き、よさこいソーランを力強く踊り、盛大な拍手を受けました。

元ALITのソニアがお礼のスピーチをしっかりと行いました。10時30分、ホームステイ先の友達や先生方と別れを惜しみながら学校を後にしました。

オークランドに移動し、博物館や、スカイタワー見学やショッピングをしました。この日の夜は空港近くのホテルへ宿泊。到着後ソニアとはここでお別れです。日本でもALITとしてたくさん思い出を作ってくれ、今回の訪問でも大変お世話になったソニアを全員で見送りました。

8時45分オークランド空港を出発し、11時間の空の旅の後、17時20分に関西国際空港へ到着。飛行機を降りてからの日本の暑さに、帰ってきたことを実感しました。

◆25日(土)・26日(日)帰国

翌朝、関西国際空港を出発し、伊丹空港経由で10時45分高知龍馬空港へ到着しました。13時30分に保護者や家族の方々の待つ佐賀支所へ到着。解散式を終え、全日程を終了しました。

今回の海外派遣では、派遣団の誰もが体調を崩すことなく、また、現地での事故などもなく、生徒たちもホームステイ先や学校で貴重な体験ができました。言葉や生活習慣の違い、慣れない食事など、生徒にとつては大変な1週間のホームステイだったと思いますが、フェアフィールド中学校の受け入れ態勢も良く、また、ホストファミリーの方々にも大変お世話になりました。

「NZで感じたこと」

佐賀中学校 3年 浅木 頼

8月16日僕はNZに旅立ちました。そこで僕は、NZの文化や生活に触れました。NZの鳥もたくさん見ました。NZにはキウイだけじゃなく珍しい鳥などがたくさんいるんだなと思いました。あと、マオリの文化にも触れました。村に行きそのマオリの踊りを観たり、ハンギ料理も食べました。決しておいしくはありませんでした。

「NZに行ってみよう」

佐賀中学校 3年 今西 星香

私はこの海外派遣事業を将来、移住などをする時や日本で外国人と話す時、仕事で役立てたいと思いました。僕はこの海外派遣事業に参加できてすごく良かったと思っています。ありがとうございます。

私がNZに行つて強く思ったことが2つあります。1つ目は他の国との文化の差に驚きました。話す言葉以外にも食べている物や生活のリズムとかたくさん日本とは違う所がありました。こういう文化の違いを感じた時、私はもっとたくさん別の国に行つてみたいと思いました。NZに行つてみて、とても楽しかったし、わくわくしました。少し怖かったりもしたけど、もっと他の国も行つてみたいと思いました。私が一人で旅行に行けるようになったら、他の国を周ってみたいです。

今年10月には、平成19年以来となるNZからの訪問団が黒潮町を訪れました(その様子は来月号でお伝えします)。この国際交流事業を通じて、国際的な視野と幅広い心を持った人材が育っていくものと期待しています。

最後に、この事業を実施するにあたりご理解とご協力いただきありがとうございます。最後に、感謝とお礼を申し上げます。

もう1つは、日本はとても良い国だなんて思いました。NZも楽しかったけど、やっぱり日本の食べ物や家、空が一番落ち着くと思えました。あと、英会話を実際に見て、自分の英語があまり通じなかったの、これから頑張つて英語を勉強しようと思っています。



【NZ研修】

佐賀中学校 3年 今村 有花

私は、8月16日から11日間、海外派遣事業に参加させてもらいました。

NZでは、数えきれないほどたくさんのことを学ぶことができました。何より、ホームステイ先で過ごした1週間は本当にあつと言う間でした。英語をゆっくり話してくれたり、ご飯の量を考えてくれたり、気を使うこととは大切だけど、使わなくていい雰囲気を作ってくれて、私の緊張は、いつの間にか楽しみに変わっていました。

この事業に関わってくれたみなさん、本当にありがとうございました。また、11日間離れて親のありがたみを感じることができました。

私は、絶対、必ずNZに行きます。その時、ホームステイでお世話になった家族にもう一度会いたいです。

そして、NZへ行くこの事業がずっと続いていって欲しいです。本当に、ありがとうございました。



【NZ研修】

佐賀中学校 3年 藤本奈々瀬

私は、NZ研修に参加してみても、日本語が通じるありがたさをすごく感じました。NZの人たちに何か伝える時、自分が知っている英語や単語があつても、それを言ってみると全然通じなかったり、違う単語と間違えられたりして、話すだけでもすごく大変でした。

それに、ホームステイ先のお父さんたちや、学校の人たちみんな、明るくてたくさん話しかけてくれてすごく嬉しかったです。私たちが困っていたら、助けてくれたり、優しく教えてくれたりすごく嬉しかったです。

だから私も今度NZの人を迎える時に、私が経験したように、明るくたくさん話しかけたいし、困っていたら助けたいと思います。

私はこのNZ研修で、たくさん学ぶことができました。NZ研修は私にとってすごく良い経験になりました。参加して本当に良かったです。

【NZJCSJ】

佐賀中学校 3年 前田 莉穂

私がNZに行って思ったこと、まず文化の違いがあつてもその国の文化が分かるので面白いしとても興味を持ってました。

最初は不安でいっぱいだったし、ステイ先の人と仲良くなれるのかなと思うばかりでした。

それに食事も日本と違うと聞いていたので、それも心配でした。

でも、NZの人はとてもフレンドリーで、すぐ仲良くなれたし、話しやすかったです。ステイ先の方は私より年下だったけど、すごく大人っぽくて、おしゃれでびっくりしました。

でも最初の方はホームシックになつて大変だったけど、段々慣れていくうちに、帰りたいなくなっていました。

私はこういう体験ができてとても良かったと思うし、これからの活かしたいです。



【NZ研修】

佐賀中学校 3年 森 夏生

私はNZ研修で主に2つのことを学びました。

まず、1つ目は「愛国心の強さ」です。NZの人々は自分の国に誇りと愛を強く持っています。例えば「マオリ族」です。自分の国の民族に誇りを持っているからこそ、ここまで伝えてくれたのではないのでしょうか。

2つ目は「言葉の違い」です。私は英語が好きなので、英語が母国語の国へ行けるのを楽しみにしていたのですが、行ってみると何を言っているのかすら聞き取れませんでした。もっと勉強していれば、もっと楽しめたのに、という後悔も少しだけあります。改めて英語の難しさ、自分の勉強不足に気付かされました。

この他にもたくさんのお話を学びました。NZに行く前から、NZのことをもっと好きになれました。そして、自分のいたならなさを発見できました。もっともっと英語を勉強し、いつか言葉の壁を感じないようになりたいです。これから努力していきたいです。

【NZ研修】

佐賀中学校 3年 矢野 勝雅

僕は、NZに行つても驚いたことがたくさんありました。家は大きいし、草原が広がり雲がきれいな所でした。日本はトイレに仕切りがあるのに、NZには仕切りがなかったことが、一番驚いたことです。NZでは、余り英語が通じなかったです。なので、通じる英語を身につけたいなと思いました。ホームステイでは、頑張って話そうとしたけど、余りうまく話せませんでした。その時に、もっと英語を勉強していれば、もっとしっかりと自分の気持ちや伝わるのになと思いました。見学地のマオリのコンサートは、とても面白かったです。話を聞いていて、とても楽しかったです。

最後に、NZへ行った体験はとても良かったです。英語が通じるとか通じないか良く分かった良い体験だと思いました。これからは、英語でしゃべれるようになります。



「NZに行ってみて、感想、感じたこと」

大方中学校 3年 植田 大輝

僕は、NZってどんなものがあるのか、NZに住む人たちの生活のスタイルや、文化が知りたいと思い今回の研修に参加しました。

実際に行ってみての感想は、とにかくNZの人は優しくかったです。気さくで親しみやすかったです。僕のおぼつかない英語も、しっかりと聞いてくれました。

食事文化なども、日本とは少し違っていました。僕がホームステイした家族では、ナイフとフォークで食事するのはもちろん、そして何より、メインの食べ物とたくさん作って、自分で好きな量を取るといふものでした。日本と外国では、いろいろ違うなと思いました。

僕が今回の研修で得たものは、NZの知識とNZでの友達です。その子はもうすぐ日本に研修に来ます。ホームステイになったら、日本のことをいろいろ教えてあげたいと思いました。



「NZ海外研修に参加して」

大方中学校 3年 大崎 涼菜

「NZ海外研修」は長いようで短かったけれど、学んだことはたくさんありました。私の目と耳と口で感じたNZはどのような国だったのか、簡単にまとめて書こうと思います。

NZは自然が豊かです。日本ではなかなか見ることができないだろう、という緑豊かな景色を見ていて感じました。そしてNZの人々はとても親しみやすく温かい人たちばかりです。私は全く知らない人に何度か親切にしてもらいました。そしてもう1つ言うとしたら、NZの人々は伝統や文化をとっても大切にしていると思います。特に「マオリ族」の人々は、マオリの歴史を受け継いで大切にしています。またNZはエコ意識が高い国でもあります。本当に日本はNZを見習うべきだと思います。

この海外研修で学んだことは、将来に活かせるように一生忘れられないようにしたいです。

「NZに行く」

大方中学校 3年 小橋 沙季

NZに行つて、英語があまり話せなくても、伝えようという気持ちがあれば会話ができることが分かりました。また、自信もつきました。始めは聞き取れなかった単語が、8日間で聞き取れるようになりました。少しは上達したからです。

それに、もっと英語が話せるようになりたいと強く思いました。NZの人は家族をとっても大切にしています。家族との時間を大切にするということは、とても良いことだなと思いました。NZにいる間は、積極的な行動ができました。友達もできました。自然の美しさも感じて、自然豊かなこの黒潮町のことを誇りに思うようにもなりました。

いろいろな体験のおかげで、自分の考え方も広がりました。外国への興味も強くなりました。NZに行けて本当に良かったです。行かせてもらったことに感謝しています。NZからの生徒が来るのがとても楽しみです待ち遠しいです。

「NZに行つて私が感じたこと」

大方中学校 3年 野並 恵

私はNZに行つて、さまざまな体験をしました。例えば、あいさつと一緒にハグをされたのは初めてだったし、先住民「マオリ」の伝統的な料理を食べたりしました。訪れた現地の中学校で授業を受けたことは、すごく良い経験になりました。クラスのみんなと仲良くなれたのが最高の思い出です。

実は、NZに行く前は、外国に行くということに不安を抱いていました。何かを無くしたらどうしようとか、英語がちやんと伝わるか心配だったんです。でも、NZで出会った人たちがみんなが私を受け入れて、温かく迎えてくれました。そのおかげで、私は伸び伸びと行動して会話を楽しむことができました。気の小さい私が、さまざまなことに「チャレンジ」することができました。この気持ちをずっと大切にしたい、まずは高校受験に、それからいっばいある問題に勝つために「チャレンジ」していきたいと思います。

「海外派遣事業を終えて」

大方中学校 3年 山崎麻夏美

NZは日本とは文化、習慣などすべてが違い驚くことばかりだったけど、日本とは違う生活を体験することができ、海外派遣事業を中身の濃いものにできました。

ホームステイで体験したNZの生活は日本と違っていました。食べる物も学校の始まる時間も終わる時間も、授業の仕方、生活リズムすべてが違いました。学校が終わるのは3時半ぐらいで早だし、寝る時間も8時半とかでとても驚きました。向こうでは、見るもの聞くものすべて英語で、会話をする時に伝わらなかつたり、単語が出てこなかつたりして困惑する場面も多かつたけど日本ではできない貴重な体験ができました。

NZでは、言葉の違い、食文化、生活の違いが多く、分からなかつたり、困つたりしてばかりだったけど、貴重な体験をし、楽しい海外派遣事業になりました。めったにできない体験ができ、本当に良かったです。ありがとうございます。

大方地域

注)表中の※印は、受付時間となります。

11月	内 容	実施場所	実施時間
16日(金)	伊田ふれあいサロン	伊田浦老人憩の家	9:30~12:00
19日(月)	愛 育 相 談	子育て支援センター (大方中央保育所内)	10:00~11:00
22日(木)	浮津ふれあいサロン	浮津集落センター	9:30~12:00
	芝ふれあいサロン	芝集会所	10:00~12:00
	下田の口ふれあいサロン	下田の口コミュニティセンター	9:30~12:00
27日(火)	大腸がん検診 容器 配布 (未受診者対象)	有井川集会所	9:00~ 9:05
		上川口消防屯所前	9:15~ 9:25
		鞭老人憩の家	9:40~ 9:50
		上田の口集会所	10:10~10:20
		下田の口コミュニティセンター	10:30~10:40
		田野浦集会所	11:00~11:10
28日(水)	御坊畑ふれあいサロン	御坊畑集会所	9:30~12:00
	浜の宮ふれあいサロン	浜の宮集会所	10:00~12:00
29日(木)	灘 健 康 相 談	灘集会所	9:30~10:30
30日(金)	鞭ふれあいサロン	鞭集会所	9:30~12:00
	大腸がん検診 容器 回収	11月27日配布分	9:00まで
12月	内 容	実施場所	実施時間
3日(月)	奥湊川健康相談	湊川ふれあいセンター	10:00~11:00
6日(木)	王迎ふれあいサロン	王迎集会所	9:30~12:00
	早咲ふれあいサロン	早咲集会所	10:00~12:00
7日(金)	子宮がん検診 (未受診者対象)	保健福祉センター	10:00~11:00
10日(月)	愛 育 相 談	子育て支援センター (大方中央保育所内)	10:00~11:00
11日(火)	入野本村ふれあいサロン	入野本村集会所	10:00~12:00
13日(木)	上川口浦ふれあいサロン	上川口浦集会所	10:30~13:00
14日(金)	乳がん検診 (未受診者対象)	保健福祉センター	※9:00~11:00
			※13:30~15:00

健康カレンダー
11月中旬から12月中旬までの健康に関する行事予定です。
変更となる場合もありますので、ご了承ください。



○お問い合わせ
本庁 健康福祉課 保健衛生係
佐賀支所 地域住民課 保健センター

☎43-2836(直通)
☎55-7373(直通)

当直医療機関一覧表

月	日	四万十市	宿毛市
11月	18日(第3日曜日)	四万十市民病院 ☎34-2126	筒井病院 ☎0880-66-0013
	23日(勤労感謝の日)	中村クリニック ☎34-5100	奥谷整形外科 ☎0880-63-1202
	25日(第4日曜日)	さくらクリニック ☎35-2555	大西内科胃腸科 ☎0880-63-1267
12月	2日(第1日曜日)	四万十市民病院 ☎34-2126	清谷医院 ☎0880-63-2302
	9日(第2日曜日)	正木整形外科 ☎34-5252	いなげ胃腸科内科 ☎0880-62-1113

※当直医は、変更になる場合がありますので、確認してから受診してください。

佐賀地域

11月	内 容	実施場所	実施時間
16日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
19日(月)	漁民ふれあいサロン	漁民センター	9:30~11:30
20日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
26日(月)	佐賀愛育相談	佐賀保育所	9:30~11:00
27日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
30日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
12月	内 容	実施場所	実施時間
4日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
7日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
11日(火)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00
12日(水)	上分ふれあいサロン	上分集会所	9:30~11:00
13日(木)	市野瀬健康相談	市野瀬集会所	13:30~14:30
14日(金)	寝たきり予防運動教室	保健センター	9:30~12:00

高知大学医学部附属病院 「皮膚科」「整形外科」の 初診は紹介状が必要です

高知大学医学部附属病院の「皮膚科」「整形外科」では、外来患者さんが著しく増加し、予約患者や入院患者さんの診療に支障が出ています。

そこで「皮膚科」「整形外科」では、今年8月より、初めてまたは予約なしで受診する場合は、紹介状が必要になりました。

誠にお手数ですが、来院の際には近くのクリニックなどからの紹介状をお持ちください。なおその際、FAX予約をしていただくと待ち時間の短縮につながります。

ご理解のほどよろしくお願ひします。

*ただし、前回受診から3カ月以内の場合は、紹介状なしでも受診できます。

○お問い合わせ

高知大学医学部附属病院医事課
☎088-880-2235

おちのちクリニック

拳ノ川診療所 ☎55-7111

インフルエンザのおはなし

秋も深まり、寒い季節となってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。

今回は「インフルエンザ」についてお話します。ご存じの方も多いかもありませんが、いわゆる「インフルエンザ」はインフルエンザウイルスに感染することで発症します。通常は、発熱やのどの痛み、筋肉痛・関節痛を伴いながら数日間治っていくことが多いのですが、ごくまれに、インフルエンザ脳炎・脳症を起し重症化することがあります。インフルエンザでの国内での死者数は、毎年数百人程度と言われています。

インフルエンザの予防のためにも、ワクチン接種をしましょう。



Dr. Osaki

国保拳ノ川診療所

所長(医師) 尾崎 友昭

※関連記事10ページ



第26回全国健康福祉祭こうち大会 ねんりんピックよさこい高知2013

平成25年10月26日[土]~29日[火]

●●●●● 長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流 ●●●●●

黒潮町ではパークゴルフ交流大会を開催します



パークゴルフ

はじめてのうんどうかい

9月23日に、いよき小学校のうんどうかいがありました。

ぼくは、かいかいのことばで、「マストのぼりがんばります。」といいました。マストのぼりは、本ぼんではうまくのぼれて、大きなバナナがとれました。

一ばんドキドキしたのは、一りん車パレードです。ちよつとしつぱいしたけど、さいごには、さくらちゃんとぜんこうの大サークルにはいって、みんなといっしょにまわられたので、とってもうれしかったです。

らい年は、ぼくは2年生になります。一りん車のわざも上きゆう生とおなじようにがんばりたいです。これから、ずつとれんしゅうして、お母さんやちいきの人にいつぱい見せたいです。

はじめてのいよき小のうんどうかいは、とってもたのしかったです。



(伊与喜小学校 1年 矢野蒼空)

笑顔でつかめ金メダル

9月23日入野小学校の運動会がありました。

今年のスローガンは、『笑顔でつかめ金メダル』に決めました。

1年生は初めての運動会、100メートル走やダンスを一生けんめいやつていて、とてもかわいかったです。4年生は毎年定番のマスト登りがあります。練習の成果が出ていて、みんなマストを上手に登っていました。



6年生にとっては、最後の運動会でした。みんな競技だけでなく、自分の係の仕事も一生けんめいできていたと思います。組体操は大技が全部成功しました。私が一番心に残ったのは、親子リレーです。父や兄・いとこの人たちと楽しそうに走っていました。リレーや綱引きも盛り上がって、とても楽しかったです。今年の運動会は赤組が勝ったけど、白組もみんな全力でがんばったので、みんなが金メダルだと思います。

みんなのがんばりで楽しい究極の運動会になったので良かったです。

(入野小学校 6年 秋田 桜)

じぶんの世界を広げるために

英語というと、アメリカしか思い浮かびませんが、実は全世界共通語です。私は、これを知ったときすごく驚いたと同時に、「すごく役に立つやん。」と思いました。私は外国の人々と話すことができます。すごく大好きです。よくみんなが、「英語、うち知らんけん話せん。」と言うけれど、決して話せている人が完璧にできるのではなく、簡単な単語を並べて会話し、分からないときは、ジェスチャーを使って伝えているのだと思います。「どうにかして相手に分かってもらおう。」という気持ちがあれば必ず伝わります。

10月8日から14日まで、黒潮町にニュージーランドの中学生が来ていました。大方中学校でも交流を行い、5名は大方中学校の生徒の家にホームステイしていました。短い期間でしたが、すごく楽しく有意義な交流ができました。話せたときの喜びというのは本当に大きく、自分の中の世界が広がるように思えます。だから、これからも多くの外国人と交流を深め、自分の世界を広げていきたいと思っています。



(大方中学校 2年 山本光紅)



介護保険ガイド

介護保険広報シリーズ⑨

認知症について

認知症は誰にも起こりうるもので、始めはもの忘れと区別がつきにくい脳の病気です。

85歳以上では4人に1人その症状があるといわれており、今後大幅に増えることが予想されています。いつ、だれが認知症になるか分かりません。認知症になっても安心して地域で暮らせるように、他人の問題ではなく「自分の問題」であるという認識をもち、認知症を正しく理解することが大切です。

◆ 認知症とは？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞がダメージを受けて働きが悪くなることで、さまざまな障がいが起こり、生活するうえで支障が出ている状態（およそ6カ月以上継続）を指します。

◆ 病気として理解し「早期発見・早期治療」を心がける

適切な治療やケアをすることで症状を軽くしたり、進行を遅らせたりできる場合がありますので、早めにかかりつけ医や専門医（もの忘れ外来、老年内科、精神科、神経科など）の受診をお勧めします。

認知症にはこんなサインがあらわれます ～サインを見逃さないで！～

- 最近の出来事が思い出せない、全く覚えていない
- 物を置き忘れる
- 日付や曜日、簡単な計算が分からない
- 同じ質問を何度もする など

◆ できない部分を補いましょう

認知症かもしれないと悲しんでいるのは本人です。周囲の人が、認知症の人やその家族の気持ちを理解し、できない部分を補えば、自分でできることが増え、おだやかに暮らしていくことができます。

認知症の人への対応の心得（3つの「ない」）

- 驚かせない
- 急がせない
- 自尊心を傷つけない

具体的な対応の7つのポイント

- まずは見守る
- 余裕をもって対応する
- 声をかけるときは1人で
- 後ろから声をかけない
- 相手に視線を合わせて優しい口調で
- おだやかにはっきりと話す
- 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

◆ 認知症を予防しよう ～運動、食事、生活のしかたが大事～

運動や趣味を楽しんだり、仲間との付き合いや社会活動で生活にメリハリをつけることで脳の働きが活発になります。また食事にも気を付け、バランスの良い食生活を送りましょう。

介護保険料は大切な財源です。納付期限までにお納めを ～安心で便利な口座振替を！～

【お問い合わせ】本庁 健康福祉課 介護保険係 ☎43-2116(直通)

インフルエンザを知って
予防しましょう

◆インフルエンザとは

風邪とは別の病気で、症状や感染力も強く、ときに重症化して命に関わることもある感染症です。
※風邪との違いについては、左の表をご覧ください。

	風 邪	インフルエンザ
症 状	鼻水やのどの痛みなどの局所症状。	38℃以上の発熱やせき、のどの痛み、全身の倦怠感や関節の痛みなどの全身症状。
流行の時期	一年を通しひくことがあります。	1月～2月に流行のピーク。ただし、4月、5月まで散発的に流行することもあります。

◆インフルエンザで症状が重くなりやすい方

- 高齢者
- 乳幼児
- 妊婦
- 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、喘息、慢性心疾患、糖尿病などの持病のある方

以上の方で、次のような重症化のサインがみられる場合は、すぐに医療機関を受診してください。

重症化のサイン	
乳幼児では <input type="checkbox"/> けいれんしたり呼びかけに答えない <input type="checkbox"/> 呼吸が速い、苦しそう <input type="checkbox"/> 顔色が悪い（青白） <input type="checkbox"/> 嘔吐や下痢が続いている <input type="checkbox"/> 症状が長引いて悪化してきた	大人では <input type="checkbox"/> 呼吸困難、または息切れがある <input type="checkbox"/> 胸の痛みが続いている <input type="checkbox"/> 嘔吐や下痢が続いている <input type="checkbox"/> 症状が長引いて悪化してきた

◆インフルエンザ予防に有効な次のことを習慣にしましょう。

<p>うがい</p> <p>①口にふくんでくちくちうがい。 ②次に上を向いてガラガラうがい。ノドの奥に回るように15秒程度。 これを何度か繰り返します。</p> 	<p>手あらい</p> <p>指輪や腕時計を外し、せっけんなどを使って30秒以上洗いましょう。洗った後は、きれいな布やペーパータオルなどで水を十分にふきましょ。</p> 
<p>マスク</p> <p>咳をしている人にはマスクをしてもらいましょう。マスクを適切に着用することで、しぶきが飛び散ることを防ぐことができます。</p>  <p>※冬に向けて今から用意しておくことも大切な予防策です。</p>	<p>人ごみはさける</p> <p>不特定多数の人が集まる場所は感染の危険性が高いです。できるだけ人ごみはさけましょう。また、帰宅時にはうがい、手洗いを行いましょう。</p>

◆インフルエンザワクチンについて
インフルエンザワクチンは、接種してからインフルエンザに対する抵抗力がつくまでに2週間程度

かかり、その効果が十分に持続する期間は約5カ月間とされています。

◆予防接種の補助について

黒潮町に住民登録があり、接種当日に、

- ① 65歳以上の方
- ② 60歳以上65歳未満で、心臓・じん臓または呼吸器の機能に自己の身の日常生活が極度に制限される程度の障がいのある方、およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいのある方（身体障害者手帳1級に相当する方）

のいずれかに該当する方については、接種料金の1回分を公費で補助しています（自己負担1000円必要）。実施期間は、10月1日から12月31日までです。

免疫力や抵抗力の弱い乳幼児や高齢者、慢性疾患をお持ちの方は、医師と相談のうえ、予防接種を受けることをおすすめします。

○お問い合わせ

本庁健康福祉課 保健衛生係
☎ 43-2836（直通）
佐賀支所地域住民課 保健センター
☎ 55-7373（直通）

みんなでささえる 国保会計



～ 医療費が高額になったとき(その1) ～

医療機関などに支払った自己負担額が一定の限度額を超えた場合、申請をして認められると「高額療養費」として払い戻しが受けられます。

自己負担の限度額は、69歳以下の方と70歳以上74歳以下の方で異なっており、今回は69歳以下の方について説明します。

【69歳以下の方の場合】 ※70歳以上74歳以下の方については次号(その2)にて説明します。

①1カ月の自己負担額が限度額を超えたとき

1つの医療機関に支払った自己負担額が、下表の限度額を超えた場合、その超えた分が後から払い戻されます。また、過去12カ月間に、1つの世帯で高額療養費の支給が4回以上あった場合は、表中の「4回目以降」の限度額を適用します。

■自己負担限度額

所得区分	3回目まで	4回目以降
上位所得者※	150,000円 ■総医療費が500,000円を超えた場合は超えた分の1%を加算	83,400円
一般	80,100円 ■総医療費が267,000円を超えた場合は超えた分の1%を加算	44,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※上位所得者とは、世帯に属するすべての国保被保険者の基礎控除後の所得を合算した額が600万円を超える世帯の方のことで、所得の申告がない方は、上位所得者とみなされます。

②『限度額適用認定証』を提示すると

この認定証を医療機関の窓口に掲示することにより、1つの医療機関での支払いが自己負担限度額までとなります。自己負担限度額は所得区分によって異なりますので、あらかじめ役場の窓口で『限度額適用認定証』の交付を申請してください。

※平成24年4月1日診療分より外来受診にも適用となりました。

③同じ世帯で合算して限度額を超えたとき

1つの世帯内で同じ月内に21,000円以上の自己負担を2回以上支払った場合は、それらを合算して限度額を超えた分が、申請により後から払い戻されます。

69歳以下の自己負担額の計算ポイント

- 月ごと(1日から末日まで)の受診について計算します。
- 同じ医療機関でも外来と入院は別計算となります。
また、歯科も別計算です。
- 2つ以上の医療機関にかかった場合は、別々に計算します。
- 入院時の食事代や保険がきかない差額ベッド料などは対象外です。



○お問い合わせ 【本 庁】 住民課 国保係 ☎43-2800(直通)
【佐賀支所】 地域住民課 総合窓口第2係 ☎55-3111(直通)

入野小学校

『鍛える』

心豊かで、たくましい

子どもの育成

校長 筒井広実

◆はじめに

今年度は、学級数9（通常学級6、特別支援学級3）児童数148人でスタートしました。

今年度の教育目標は、昨年度に引き続き「鍛える」です。さまざまな場面で心身ともに「鍛えて」いきます。

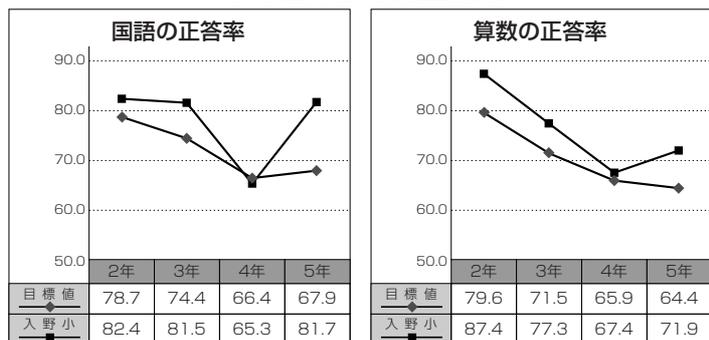
たとえば「困っている友だちがいたら声をかけ、助けることができる。」「できるだけ、歩いて登校することができる。（バス通学は除く。）」

そんな強い力を全校児童が身に付けることができますようになればと考えています。

「効果のある取り組みを」

最小の労力で最大の効果を出せるよう教職員が一丸となって頑張っています。

本年度の学力調査結果



◆学力の状況

全学年とも算数では、全国目標値を上回りました。国語においては、目標値とほぼ同程度の学年はありましたが、目標値を上回ることができませんでした。

今年度は、観点別、領域別に見ると、国語の「書くこと」「読むこと」に弱さがありました。「書くこと」に重点をおいて取り組むことにしました。

◆学力向上への取り組み

①学習規律の徹底

言葉と行動の一致を目指し取り組みを行う。

②児童の参観授業

公開授業を利用して、「上級生の良さを学ぼう」というめあてで、6年生の授業を5年生が参観し、自分たちの学習を振り返る機会を設けた。

③間違いを活かす授業

間違ふことで大切なことに気づけた・深めれたという肯定的なとらえ方をし、間違っても真剣に取り組もうとする姿勢を評価する。

④早進児への手立て

課題が終わった児童に対して無駄な待ち時間を作らないような手だてをとる。

⑤ノート紹介

きれいな字を書くことを心がけ、自分の学習を振り返れるノートにすることを奨励する。

3学期には「美しいノートコンテスト」を実施する。



美しいノートの掲示

◆特色ある学校づくり

【体験学習】

本校では5年生が、篠田光男さんと一緒に田植えと稲刈り体験を行っています。

ぬかるんだ田んぼへ入る経験がない子どもたちは、「足が抜けん!」といいながら、貴重な体験をさせてもらっています。秋には、収穫したお米を販売する予定です。



◆親子行事

（学年PTA主催行事）

各学年の保護者からなる学級委員さんを中心に親子行事を行っています。

今年度は、1・2年生はクッキング、3年生はバームクーヘン作り、4年生は親子ゲーム・ドッチボール、5年生は防災キャンプ、6年生は陶芸教室を行いました。



「鍛える」

これからも心と体を鍛え、「たくましい子ども」の育成を目指し、職員が一丸となってさらにすばらしい学校を目指します。

佐賀中学校

『人間を大事に』

『凡事徹底・凡事一流』

校長 島田義富

◆はじめに

本校では、長年教育目標を『人間を大事に』とし、人権・『同和』教育を根底に据え、いじめや差別を許さない人としての生き方を大事にした日々の生活や授業、部活動、学校行事に、全校挙げて取り組んでいます。

さらに、当たり前のことが当たり前ででき、そのレベルを上げていこう（凡事徹底・凡事一流）と、生徒会と協働した取り組みを行っています。また、本年度は、『自ら学ぶ力』を育てる指導方法の研究・考え・かかわり・つながり・高まる』を校内研究テーマとして、『基礎学力の定着と充実』および『仲間づくり』を推進するために、2つの部会を中心に校内研修を充実させるよう取り組んでいます。また、この3月に体育館が完成し、昨年完成した校舎と合わせて、すばらしい学習環境の下で学習に励んでいます。



完成した佐賀中学校新校舎と体育館

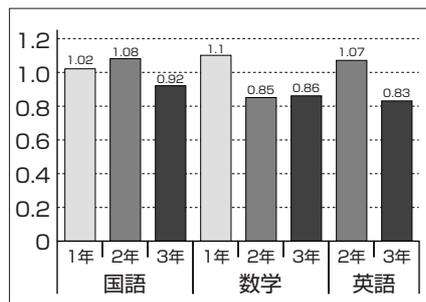
◆『基礎学力の定着と充実』授業改善と家庭学習

下のグラフが学力の状況で、

学年や教科によって課題があります。基礎学力の定着を図り学力を向上させるためには、日々の授業を充実させることが基本となります。そこで、チェックテスト（CT：授業始めの5分間テスト）を導入した「授業づくりのスタンダード」の取り組みに重点を置いています。このCTは、単元や期末の各テストにも反映されるもので、日々のCTで8割をクリア（8割未満は補充学習）していくことで各テストの高得点につなげ、成長の実感を味わわせ、学習意欲を高めることを目標にしています。

さらに、家庭学習の内容をCTと連動させ、内容の充実と成果につながるようになっています。1学期末のアンケートでは、ほぼ全員の生徒が有用感を感じ、意欲的に取り組めたと答えています。CTへの取り組みが定着すれば、家庭学習の質と量の向上が図られ、基礎学力の定着と学力の向上につながると確信しています。

本校の標準および全国学力調査結果（全国を1とする）



◆『仲間づくり』学校行事を通して

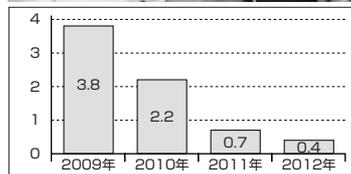
本校では、授業だけでなく学校行事や部活動を通して、仲間づくりをすすめています。その中でも本校の3大行事といえるのが、『佐中祭』『運動会』『人権集会』になります。特に「佐中祭」は、今年で13年目を迎える本校独自の行事で

す。昨年度からは開催時期を2学期にし、時間も午後日程にして、3年生をリーダーとする縦割り班の店舗活動やステージ発表を中心に行っています。生徒全員が心をこめて準備と練習を重ね開催するこの佐中祭は、地域に愛され親しまれる行事としてしっかりと定着しています。



大盛況の昨年度の佐中祭

また、学校給食については、ランチルームでの一斉給食を行っており、毎日楽しい雰囲気の中でおいしい給食を食べることができていて、残食なども大幅に減ってきています。



一斉給食と残食量の月平均割合

【防災教育】

近い将来必ず起こるであろうと言われている南海トラフでの地震による津波の高さが、最大34mを越える予測がなされ、津波からの避難が学校だけでなく地域全体の大きな課題となっています。

そこで今年度は、これまでの避難場所では高さ不足のため、想定される津波の高さにも対応できる場所へと避難経路の変更をしました。さらに、保育所・小学校・地域保護者にも呼びかけ、合同の避難訓練を6月に実施しました。左の写真はその時の様子です。

今回の避難訓練では、避難については、予想以上に迅速にできたものの、急傾斜地でも避難道として整備されていない今回のルートは、安全に避難するには不十分であるという課題が出されました。今後は、早急な避難道の整備を要求していきながら、こうした訓練を重ねていきたいと思っております。



初めての合同避難訓練

『ヤマトタチバナ』

ヤマトタチバナは、暖地の沿岸に近い山地にまれに自生する木です。

高さは2〜4mになり、通常は50〜100年で枯れて消滅します。ヤマトタチバナは太陽の光を好み、充分に光を浴びることのできる場所でよく育ちます。

珍しい植物なのに黒潮町に比較的多くみられるのは、生育条件が合っているためだと思われます。



※昭和50(1975)年旧佐賀町文化財指定。

■木の特徴

日本で独自に変化したみかんの原種で、葉腋(葉の付け根)にとげがあります。

葉は互生(一つの節に1枚ずつ重ならないように付くこと)し、長さ3〜6cmの楕円形状披針形状で、革質です。

6月ごろ、枝先の葉腋に直接2cmの5弁の白い花が咲きます。香り高く清楚な花は、文化勲章のデザインに採用されています。

果実は、直径2.5〜3cmの扁球形。果皮は黄色で薄く、袋は6〜8個。種子は5〜6個で大きく、酸味が強いが生食もできます。

香りを生かした和菓子材料や、酢だちのように焼き魚などに使われます。

■日本神話に登場する木

古来より大和の人々に大切にされてきた木で、古事記、日本書紀に登場します。

海の彼方にある常世の国(楽園)から、不老長寿の果実として持ち帰ったと記されています。

果実は非時香菓とよばれ、宮中の貴重なお菓子だったようです。

また、清楚な香りで恋人を思い出す内容の歌が、万葉集などに多く詠まれています。

ひな祭りのひな壇には、向かって左に橘、右に桜が置かれています。これは、京都御所紫宸殿の前庭の右近の橘、左近の桜を真似たものと言われています。右近の橘は本種の栽培品種で、果実が大きいようです。

○お問い合わせ

教育委員会文化振興係
(大方あかつき館内)

☎ 43-2110 (直通)

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる方を養成するために、中学校卒業者を対象に採用する制度です。

身分	特別職国家公務員(生徒) ※自衛官ではありません。		
手当	生徒手当	月額94,900円	期末手当 年2回(6月・12月)
衣食住	駐屯地で生活し、宿泊は無料で、食事・被服類・寝具などについては支給または貸与。		
休日休暇	週休2日制、祝日、年末年始、夏季休暇、年次休暇など。		
応募資格	平成25年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業者(見込みを含む)。		
受付期間	平成24年11月1日(木)～平成25年1月7日(月)		
試験日・場所	一次試験	平成25年1月19日(土)	四万十市内

○お問い合わせ 自衛隊四万十地域事務所 ☎35-3096

備えて安心 77

南海地震などおこる災害への備え

消すまでは 出ない行かない 離れない

「119の日」である11月9日（金）から15日（木）までの1週間、「消すまでは、出ない行かない、離れない」を全国統一の標語として「平成24年秋の火災予防運動」が実施されます。

この運動は、空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、皆さんの火災予防への意識を高めることによって、火災の発生を防止し、死傷者の発生の予防、財産の損失を防ぐことを目的としています。

皆さんも、住宅用火災警報器や消火器の設置・点検を行っていたかどうかともに、火を取り扱う場合には、細心の注意をお願いします。



睦焼きなどの火入れには 許可が必要です

火災などの災害を未然に防止するためには、町民の皆さんのご理解ご協力が必要不可欠です。

火を取り扱うことは、さまざまな法律で禁止され、また禁止されていなくても許可が必要な場合があります。 「火入れ」に関しても、適切な手続きを行っていただくことで、消防署や役場が火入れに関する情報を把握することができ、万が一、火災が発生した場合、迅速な対応が可能となります。

皆さんの生命・財産を守るためにも、火入れを行う際は次の点にご注意ください。

●火入れについて

造林のための地ごしらえ、開墾準備、害虫駆除、焼畑、採草地改良のために火入れを行う場合には、火入れを開始する7日前までに、役場に「火入れ許可申請書」を提出してください。

役場では、火入れ許可申請書の内容を確認し、問題がなければ「火

入れ許可証」を交付します。（火入れを行うことに問題がある場合は許可できず、火入れ許可証の交付はしません。）

提出先

- 本庁情報防災課消防防災係

☎43-2188（直通）

- 佐賀支所地域住民課

総合窓口第1係

☎55-3113（直通）

- 火災とまぎらわしい煙または火災を発するおそれのある行為について

屋外で、火災とまぎらわしい煙または火災を発するおそれのある行為をする場合には、黒潮消防署へ「火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届出書」を提出してください。

提出先

- 黒潮消防署 ☎55-2500

※申請書や届出書は、黒潮町役場 および黒潮消防署にあります。

必要な方は左記までご連絡ください。

住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

火災の中で住宅火災が占める割合が多く、またそれらが就寝中に多いことを踏まえ、平成23年6月1日より住宅用火災警報器の設置が義務化されています。

火災の脅威から「生命」や「財産」を守るためにも、一日も早い設置をお願いします。

住宅用火災警報器は、寝室と、1階以外に寝室がある場合はその階の階段上へ設置してください。また義務ではありませんが、台所などへの設置もおすすめします。



平成24年度コミュニティ助成
事業を実施しました

財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するための事業を行っています。

▼少年消防クラブが資機材整備
【地域防災組織育成助成事業】



整備した資機材を確認する澤田代表。
(伊田少年消防クラブ)

この事業を活用して、伊田少年消防クラブにライフジャケットやテントなど、防災訓練や防災学習で使用する防災資機材を整備しました。



本庁消防防災課 消防防災係
☎ 43-2188 (直通)

ねんきん「コーナー」



「社会保険料(国民年金保険料) 控除証明書」が発行されます

年末調整・確定申告まで 大切に保管を!!

国民年金保険料は、所得税および住民税の申告において金額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した保険料が対象です。この社会保険料控除を受けるためには、納付したことを証明する書類の添付が義務付けられています。

平成24年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方については、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が11月上旬に日本年金機構から送付されます。また、10月1日から12月31日までの間に今年はじめに国民年金保険料を納付された方には、来年の2月上旬に送付されます。

年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書(または領収証書)を添付してください。

◆ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、納付されたご本人の社会保険料控除に加えることができませんので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付して申告してください。

※「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」についての照会は、控除証明書のはがきに表示されている年金事務所へお問い合わせください。

年金受給者の皆さんへ

「扶養親族等申告書」は

期限までに提出しましょう!

老齢や退職を支給事由とする年金は、雑所得として所得税の課税対象とされています。(障害年金・遺族年金は課税されません。)

課税対象となる受給者の方には、毎年11月上旬までに日本年金機構から扶養親族等申告書が送付されますので、12月1日の提出期限までに必ず提出してください。

この申告により、翌年中に受けられる年金にかかる所得税の源泉徴収税額が決まります。もし提出を忘れると、各種控除が受けられ

ず、所得税の源泉徴収税額が多くなる場合がありますのでご注意ください。

なお、年金以外に収入がある方は確定申告が必要です。

平成25年分「扶養親族等申告書」が送付される方

年齢	年金額
65歳未満	108万円以上
65歳以上	158万円以上

○お問い合わせ

黒潮町役場

本庁住民課 住基戸籍係

☎ 43-2800 (直通)

佐賀支所 地域住民課

総合窓口第2係

☎ 55-3701 (直通)

日本年金機構 幡多年金事務所

☎ 34-1616

みんなで築こう 人権の世紀

く考えよう 相手の気持ち

育てよう 思いやりの心

12月4日から10日は人権週間です

国際連合で1948(昭和23)年

12月10日に世界人権宣言が採択さ

れたことを記念して、法務省と全

国人権擁護委員連合会は、194

9(昭和24)年から毎年「人権デー」

を最終日とする1週間(12月4日

～10日)を、「人権週間」と定めま

した。

期間中は、世界人権宣言の趣旨

や重要性を広く国民に訴え、人権

尊重思想の普及高揚を図るため、

全国各地においてシンポジウム、

講演会、映画会などを開催するほ

か、テレビ・ラジオなどを利用し

た集中的な啓発活動を行っています。

黒潮町においても、この期間の

各種行事を計画中です。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

心配ごと・困りごと、
人権・行政相談所の開催

皆さんの相談を社会福祉協議会

相談員、人権擁護委員、行政相談

委員などが受ける相談所を開きま

す。皆さんの心の負担が少しでも

軽くなればと考えています。家庭

での心配ごと、地域でのめんど

人権侵害や行政に関する相談など、

ひとりで悩まず気軽にご相談くだ

さい。相談の秘密は必ず守り、料

金は無料です。安心してお越し

ください。

◆開催日時・場所

●11月16日(金)午前10時～正午

鞭集会所

●11月16日(金)午後1時～3時

浮津集会所

●12月5日(水)午後1時～3時

総合センター(佐賀支所前)

●12月7日(金)午後1時～3時

保健福祉センター(本庁前)

◆黒潮町の人権擁護委員

●矢野智子(拳ノ川)

●山下鹿男(市野々川)

●山本規(佐賀)

●田辺孝(奥湊川)

●矢野博幸(入野)

●矢野健康(馬荷)
○お問い合わせ
本庁住民課人権啓発係

☎43-2800(直通)

無料弁護士相談所の開催

黒潮町では、多様化する消費者

相談、家庭や職場、地域での悩み

相談に対応するため弁護士をお招

きし、無料相談所を開設します。

近年町内でも悪質商法による高

齢者の被害や、多重債務を抱える

方の相談も増えています。日ごろ、

なかなか相談できないこともこの

機会に相談してみませんか?

◆大方会場

日時 11月20日(火)

午後6時～9時

会場 保健福祉センター(本庁前)

◆佐賀会場

日時 12月5日(水)

午後6時～9時

会場 総合センター(佐賀支所前)

※相談時間は一人30分以内(事前

予約制)

○お申し込み・お問い合わせ

本庁住民課人権啓発係

☎43-2800(直通)

本庁産業推進室 商工観光係

☎43-2113(直通)

弁護士資格のある人権擁護委員による人権相談所のご案内

四万十人権擁護委員協議会と高

知地方法務局四万十支局では、特

設人権相談のほか、弁護士資格の

ある人権擁護委員による人権相談

を2カ月に一度、四万十支局にお

いて開設します。

開設日

奇数月の第2水曜日

(平成25年1月は第2木曜日)

●11月14日(水)

●平成25年1月10日(木)

●3月13日(水)

時間 午後1時～3時

※相談時間は一人30分以内

その他

事前予約制

※相談は無料、秘密は厳守します。

○開設場所・お問い合わせ

高知地方法務局 四万十支局

(四万十市右山五月町3-12)

☎34-1600

「黒潮町人権教育推進講座」が始まります！

- 第1講座 11月14日(水)
「人権とは…」
*体験や話しを通して身近な人権を考えよう
講師：松浦学世さん
 - ★森 美栄さん
 - ★森 秀一さん
 - 第2講座 12月14日(金)
「見えにくい差別について」
*いじめやネット社会に潜む差別を知ろう
講師：山中千枝子さん
 - ★谷口 晃さん
 - 第3講座
平成25年1月16日(水)
「私たちの暮らしを見つめよう」
*ワールドワークを通して
 - 第4講座 2月27日(水)
「今、人権は…」
*これから、私たちはどう行動する？
講師：★江嶋修作さん
 - ※★印の講師の方の講座は、『オープン講座』です。
- 会場：黒潮町総合センター
黒潮町保健福祉センター
大方町民館 他

黒潮町では「人権文化豊かなまちづくり」を推進するために、「黒潮町人権教育推進講座」を開催します。この講座は、「差別のない明るい黒潮町をめざして地域ぐるみの人権教育を推進するため人権教育の講座を計画的に実施し、人と人とのつながりを大切にできる、地域に根ざした指導者を育成する」ことを目的とし、今年度は上記の内容で、各講座、多彩な講師の方をお招きして実施します。事前申し込みのいらない『オープン講座』もあります。詳しい内容や時間などについては、お問い合わせください。

黒潮町ではこれからも、いろいろな「人権教育・人権啓発」の取り組みを計画していきます。私たちが共に生きていくこの黒潮町を、すべての人の人権があたりまえに尊重される、「人権文化」に満ちあふれた町とするためにも、住民の方の多くのご参加をお願いします

○お問い合わせ
教育委員会 人権教育係
☎55-3190(直通)
本庁住民課 人権啓発係
☎43-2800(直通)

2012 大方人権まつり
「第24回解放のまつり」

「出会い・感動・絆」をテーマに大方人権まつりが、今年12月に開催されます。たくさんのご来場をお待ちしています。

催し・発表

- ◆日時 12月15日(土)午前9時～
- ◆場所 ふるさと総合センター
- ◆大方中学校吹奏楽部演奏
- ◆町内小中学生による人権作文発表
- ◆浜松解放子ども会発表
- ◆黒潮町職労 部落解放研究部発表
- ◆大方中央保育所発表
- ◆保・小・中学校教職員発表
- ◆おらんくの先人紹介
- ◆記念公演 午後1時30分～
日浦駿介・日浦久子・笑進笑明
音楽隊&サポーターズによるトーク&コンサート
障がいを持ちながらも「書」を通して表現活動を行う日浦駿介という青年が生み出した言葉「笑進笑明」「明るく笑って進もうぜ！」をテーマに、障がいも個性の一つとして捉え、自分の力で生きて行こうという目標に向かって、その輪を広げていったのが「笑進笑明プロジェクト」。日浦駿介という一人のアーティストの生きざまと、彼を支えた家族の「言葉」そして「笑進笑明」の精神から生まれたさまざまな「音楽」を、皆さんにお届けします。
- ◆出店 寿司・炊き込みご飯・じゃこ飯・花の苗・グアバ茶・ぷちお好み焼き・コーヒー・フランクフルト・やきとり・カレーライス・綿菓子・うどん・フライドチキン・フライドポテト・アメリカンドッグ
- ◆作品展示
- ◆日時 12月12日(水)～16日(日)
午前9時30分～午後5時30分
- ◆場所 大方あかつき館
- ◆内容 小学生人権標語／小・中学生人権作品／大方中央保育所作品／大方生華園・大方誠心園活動紹介／町民館デイサービス活動紹介／浜松解放子ども会活動紹介／地域交流事業活動紹介



○お問い合わせ
2012 大方人権まつり
実行委員会事務局 大方町民館
☎43-1204(直通)

暴力は「人権侵害」です！

11月25日は

【女性に対する暴力撤廃国際日】です

毎年11月12日～25日は【女性に対する暴力をなくす運動】として、女性に対する暴力の問題に関する取り組みを強化するとともに、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることを目的に実施しています。

暴力は、男女を問わず、いかなる場合も、決して許されるものではありません。万が一、あなたが配偶者などから暴力を受けているとき、または、暴力をふるってしまったり自分を変えたいときは、一人で悩まずに相談してみませんか？
DV（ドメスティック・バイオレンス）で苦しんでいるあなた、周りで苦しんでいる人を知っているあなた、一人で悩まず早めの相談でああなたの家庭を守りましょう。

○お問い合わせ

本庁住民課 住基戸籍係

☎ 43-2800 (直通)

佐賀支所 地域住民課

総合窓口第2係

☎ 55-3701 (直通)

相談窓口 <相談することで、問題解決の第一歩を踏み出しましょう。>

対象者	相談先	電話番号	相談時間など
女性 DV被害者の男性	女性相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)	☎088-833-0783	平日 9時～22時 土・日・祝日 9時～20時 (年末年始は休み)
女性 男性	こうち男女共同参画センター 「ソーレ」	女性向け ☎088-873-9555 男性向け ☎088-873-9100	女性向け 9時～17時 男性向け(予約制) 第1・3火曜日 18時～20時 (第2水曜日、祝日年末年始は休み)
暴力被害者	警察	警察本部の総合相談係 ☎#9110 ☎088-823-9110 最寄りの警察署の生活安全担当課	夜間・休日は当直員対応 緊急の場合は、110番へ
女性 DV被害者の男性	黒潮町役場 窓口 【住民課 人権啓発係】	☎43-2800 (直通)	平日 8時30分～17時15分 (土・日・祝日・年末年始は休み)

～ 安心してください。 秘密は守られます。～

平成25年成人式 新成人代表者募集

平成25年「黒潮町成人式」の新成人代表者を募集します。

20歳の記念になると思いますので、われこそは！と思う方の応募をお待ちしています。なお、応募者多数の場合は、教育委員会にて抽選とさせていただきます。

- ◆対象者 平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれで、次のいずれかに該当する方
 - ①町内に住所を有する方
 - ②町内の中学校を卒業した方
 - ③町内の小学校を卒業し、町外の中学校を卒業した方
- ◆募集人数 3人(誓詞、記念品授与、花束贈呈 各1人)
- ◆募集期限 11月30日(金)まで
- ◆応募方法 電話・FAX・メール



黒潮町成人式

日時／平成25年1月3日(木) 午後0時30分～受付、午後1時30分～式典
場所／ふるさと総合センター(黒潮町入野) 大ホール

○お問い合わせ・応募先／教育委員会 生涯学習係 ☎55-3190 FAX55-3850
e-mail:kyoiku@town.kuroshio.lg.jp



サニーくん

土佐くろしお鉄道NEWS

©やなせ たかし
サンコちゃん



お!!なか・すく線 土佐くろツアー(下半期)

ゆったりした時間配分で体験・見学を楽しみ、地元の食材で作ったお弁当を味わいましょう♪

●迎春! 平成25年 金比羅宮 参拝の旅

列車でゆったりと初詣しませんか?

○受付期間: 11月19日(月)~12月20日(木)

○開催日: 平成25年1月12日(土)

○旅行代金(昼食・夕食含む):

中村駅発【大人】14,800円

【子ども】8,000円

宿毛駅発【大人】15,800円

【子ども】9,000円

○定員: 40名



●春爛漫!

四万十菜の花・温泉・屋形船の旅

春の四万十時間を満喫していただくコースです。

○受付期間: 平成25年2月1日(金)~3月1日(金)

○開催日: 3月16日(土)

○旅行代金(昼食含む):

高知駅発【大人】9,800円

【子ども】7,300円

中村駅発【大人・子ども】5,000円

○定員: 25名

お!!なか・すく線 ウォーク(下半期)

のんびりゆっくり歩いて、中村・宿毛線沿線のオススメ景色や施設、歴史にふれてみませんか?

★中村・宿毛線ご利用のお客さんは、参加費100円キャッシュバック!(当日スタッフにご連絡ください。)

●小京都中村(ガイド付き)ぶらぶらウォーク ~四万十市~

中村駅をスタートし、一条さん、お買い物、紙芝居や史跡めぐりなどを楽しめます。

○申込期限: 11月9日(金)

○開催日: 11月17日(土) 8:30~15:30

○徒歩距離: 約5.7km

○参加費(昼食含む): 2,000円

★参加費プラス500円でお買物券1,100円分が付きます。

○定員: 20名



●海辺のガラス工房見学と上林暁生家 とあかつき館見学 ~黒潮町~

自然豊かな黒潮町の花、松原、ラッキョウ畑を見ながら歩き、近隣施設を見学します。

○受付期間: 11月10日(土)

○開催日: 11月24日(土) 8:25~14:40

○徒歩距離: 約6.7km

○参加費(昼食含む): 2,000円

○定員: 20名



●岩本寺参拝ウォーク ~四万十町~

お米のおいしい、歴史ある四万十町をゆっくり街歩き。桜の咲く農道や岩本寺を訪れます。

○申込期限: 平成25年3月20日(水)

○開催日: 3月30日(土) 11:55~14:40

○徒歩距離: 約4km

○参加費(昼食含む): 2,000円

○定員: 20名



【お申し込み・お問い合わせ】

土佐くろしお鉄道株式会社(土佐くろしお鉄道中村駅内) ☎35-4961

黒潮町役場 本庁 総務課 企画振興係 ☎43-2177(直通)

時	番組
6	00 番組案内
	05 IWKNEWS
	25 行政チャンネル
	40 耳をすまして
	55 こじさんと夢中!! みんなのサークル
7	10 ふるさと散策
	15 教えて!! まちのお店舗さん
	30 図書館どうでしょう
	35 料理delぼん
	50 お話玉手箱
8	05 ザ☆黒潮人
	20 くろしお☆チルドレン
	25 サイエンスチャンネル
	40 Kochi on TV!
9	40 片さんのFish!おふ
10	30 番組案内
	35 IWKNEWS
	55 行政チャンネル
11	10 耳をすまして
	25 こじさんと夢中!! みんなのサークル
	40 ふるさと散策
	45 教えて!! まちのお店舗さん
12	00 図書館どうでしょう
	05 料理delぼん
	20 お話玉手箱
	35 ザ☆黒潮人
	50 くろしお☆チルドレン
	55 サイエンスチャンネル
13	10 Kochi on TV!
14	10 片さんのFish! おふ

時	番組
15	00 番組案内
	05 IWKNEWS
	25 行政チャンネル
	40 耳をすまして
	55 こじさんと夢中!! みんなのサークル
16	10 ふるさと散策
	15 教えて!! まちのお店舗さん
	30 図書館どうでしょう
	35 料理delぼん
	50 お話玉手箱
17	05 ザ☆黒潮人
	20 くろしお☆チルドレン
	25 サイエンスチャンネル
	40 Kochi on TV!
18	40 片さんのFish!おふ
19	30 番組案内
	35 IWKNEWS
	55 行政チャンネル
20	10 耳をすまして
	25 こじさんと夢中!! みんなのサークル
	40 ふるさと散策
	45 教えて!! まちのお店舗さん
21	00 図書館どうでしょう
	05 料理delぼん
	20 お話玉手箱
	35 ザ☆黒潮人
	50 くろしお☆チルドレン
	55 サイエンスチャンネル
22	10 Kochi on TV!
23	10 片さんのFish! おふ

特別番組

◆第65回秋季四国地区高等学校野球大会
11月3日(土) 準決勝
生中継 9:45~試合終了まで
再放送 19:00~試合終了まで

11月4日(日) 決勝
生中継 9:45~試合終了まで
再放送 19:00~試合終了まで

※雨天順延

24 ※24:00~翌朝6:00までは「ショップチャンネル」を放送します。

注1) 特別番組は、番組時間を調整して放送しますので、番組表と異なる場合があります。
注2) 放送内容などは予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。なお、電子番組表をご覧いただくと正確な番組内容を確認できます。(デジアナ放送を視聴の方以外)

10月から加入料無料キャンペーン開催中!詳しくはチラシをご覧ください。

IWKTV自主放送番組内容のご紹介 **番組内容の更新は、毎週水曜日の15:00です。**

◆IWKNEWS…まちの出来事をお送りします。	◆お話玉手箱…町内の民話、伝承などを紙芝居で楽しめます。
◆行政チャンネル…役場からの情報をお送りします。	◆料理delぼん…町内のいろんなごちそうをご紹介します。
◆耳をすまして…まちの人による絵本の読み聞かせ番組。	◆図書館どうでしょう…図書館の新刊をご紹介します。
◆こじさんと夢中!!みんなのサークル…サークルや部活動など、夢中な人をご紹介します。	◆ザ☆黒潮人…町内に住む「人」にクローズアップ
◆教えて!!まちのお店舗さん…黒潮町のお店をご紹介します。	◆くろしお☆チルドレン…黒潮町の子どもたちをご紹介します。
◆ふるさと散策…黒潮町内を散策、再発見します。	

IWKTVの放送時間・番組などに関するお問い合わせは 黒潮町役場 本庁 情報防災課 情報推進係 または IWKTV制作室まで

【情報推進係】 ☎43-2188 **【IWKTV制作室】 ☎43-0500**
(土・日・祝日・年末年始を除く8:30~17:15) E-Mail iwktv@iwk.ne.jp
(土・日・祝日・年末年始を除く9:00~17:00)

11月1日から四種混合ワクチンが始まりました

お子さんの予防接種が次のよう
に変わります。

【10月末まで】

◆三種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風)

◆不活化ポリオワクチン

◆対象者 それぞれ生後3カ月から90カ月までのお子さん。

【11月から】

◆四種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・ポリオ・破傷風)

対象者 原則として、三種混合ワクチンを一度も接種していないお子さんで、かつポリオワクチンを一度も接種していないお子さん。

11月以降、新たに3カ月となるお子さんについては、こちらから予診票をお送りします。それ以外の方で、四種混合ワクチン接種をご希望の方は、お子さんの母子手帳をご持参のうえ、左記までお越しください。

○お問い合わせ
本庁健康福祉課保健衛生係
☎ 43-2836(直通)
佐賀支所地域住民課保健センター
☎ 55-7373(直通)

障がい者パソコン教室

黒潮町内在住で身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方を対象に、無料のパソコン教室を開催します。

年末に向け、年賀状の作成などに役立てみませんか。

◆日程

11月30日(金)～12月6日(木)の5日間(午後2時～4時の2時間を予定)

◆内容

①パソコンの操作
②ワード・エクセルの使い方
③年賀はがきの作り方など

◆場所

保健福祉センター
1階 健康づくり推進室

◆募集定員

5名程度(定員を超えた場合、こちらで調整させていただくことがあります。)

◆申込期限

11月16日(金)

○お申し込み・お問い合わせ
本庁健康福祉課福祉係
☎ 43-2116(直通)

狩猟免許試験のご案内

平成24年度狩猟免許試験(冬期)を実施します。シカやイノシシなどの鳥獣害にお困りの農林業の皆さんの受験をお待ちしています。

◆狩猟免許の種類

【第1種銃猟免許】
装薬銃を使用する猟法(空気銃を使用する猟法もできます)

【第2種銃猟免許】

【わな猟免許】
わなを使用する猟法

◆試験の日時・会場

【わな猟】
12月16日(日) 午前10時
中村地区建設協同組合会館
(四万十市右山元町3-3-26)

●平成25年2月3日(日)
午前10時
高知県立ふくし交流プラザ
(高知市朝倉戊375-1)

【第1種・第2種銃猟】

●2月2日(土)
午前10時
高知県立ふくし交流プラザ
(同右)

◆受験料

①現在、有効な狩猟免許を持っていない方 5200円

②現在、有効な狩猟免許を持っている方 3900円

◆申請書配布場所

高知県鳥獣対策課、中村地区猟友会、黒潮町役場

◆申請方法

申請書類などを受験しようとする試験日の10日前(必着)までに、高知県産業振興推進部鳥獣対策課へ提出してください。

○お問い合わせ
高知県産業振興推進部鳥獣対策課
☎ 088-823-9042
中村地区猟友会(月、木のみ)
☎ 34-2160
黒潮町役場佐賀支所海洋森林課
☎ 55-3115(直通)

参考

高知県猟友会では、猟友会員および猟友会への加入希望者を対象に予備講習会(有料)を実施しています。日程や申込方法など詳細は、高知県猟友会(☎088-823-1036)または中村地区猟友会(☎34-2160)まで。

平成24年度
黒潮町戦没者追悼式

先の大戦で亡くなられた方を追悼し、平和を祈念するため、黒潮町戦没者追悼式を行います。参列については、ご遺族を優先しますが、座席に多少の余裕がありますので、ご遺族以外の方は、当日受付にてお申し出ください。

日時 11月16日(金)

受付 午前9時～9時40分

式典 午前10時～11時40分(予定)

場所 黒潮町総合センター

(佐賀支所前) 大ホール

○お問い合わせ

本庁 健康福祉課福祉係

☎ 43-2116(直通)

在宅介護者の集い

介護を必要とする人の割合は年々増えています。それに伴って介護者の負担や不安も多くなっています。介護者の孤立を防ぎ、心身のリフレッシュを図るために「在宅介護者の集い」を開催します。日頃の介護体験などを話し合い、介護者相互の交流を図りませんか。

参加を希望される方は、地域包括支援センターまでご連絡ください。

日時 11月22日(火) 午前10時～正午

場所 黒潮町総合センター

(佐賀支所前) 研修室

○お問い合わせ

地域包括支援センター

☎ 43-2240(直通)



上林暁文学館講座

文化振興係では、平成24年度文学館講座を開催します。

第1講座

日時 11月25日(日)

午後2時より

場所 あかつき館 2階会議室

講師 上林暁顕彰会会長

植田 馨さん

入場料 無料

第2講座

12月に、上林暁の孫で、上林文学の研究をしている大熊平城さんをお迎えして行います。

○お問い合わせ

教育委員会文化振興係

(大方あかつき館内)

☎ 43-2110(直通)

第7回 黒潮町民大学

心の豊かさとおまちの活性化のために、下記日程にて黒潮町民大学を開催します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。



【第1講座】 11月4日(日) 大方あかつき館
金子みずゞ記念館館長・童話作家 矢崎 節夫 さん
『「文化は心の花」金子みずゞさんのまなざしを通して』



【第2講座】 11月9日(金) 総合センター(佐賀支所前)
子どもの学び館 代表取締役 福永 宅司 さん
『一人芝居「君をいじめから守る」』



【第3講座】 11月16日(金) 大方あかつき館
ミュージカル落語家 三遊亭 亜郎 さん
『ピンチをチャンスに変えるポジティブ・シンキング』



【第4講座】 11月22日(木) 大方あかつき館
東北大学 災害科学国際研究所 今井 健太郎 さん
『防災講座』

開 場/午後7時
開 演/午後7時30分
受講料/無料
※事前申し込み不要。
※送迎車をご利用の方は、前日の17時までにご連絡ください。

【主催】
黒潮町教育委員会
黒潮町

○お問い合わせ
教育委員会 生涯学習係
☎55-3190(直通)

お知らせ

子犬の譲渡会



開催日 11月28日(水)
場所 中村小動物管理センター
 (四万十市古津賀)

受付時間など

◆子犬を譲りたい方

午前9時30分～10時

◎必ず事前に、幡多保健所へ連絡し、当日は印鑑を持ってきてください。

◆子犬を飼いたい方

午前10時～10時10分

◎当日は、必ず印鑑と子犬を入れる箱を持ってきてください。

◆譲渡犬の決定

午前10時10分～10時20分

※希望者が多数の場合は抽選となります。

◆子犬の飼養前講習会

午前10時20分～11時

◆子犬の譲り渡し

午前11時～

※譲渡できる子犬がない場合は、中止にすることがあります。

問 幡多保健所衛生環境課

☎34-5119(直通)

最低賃金改正のお知らせ

高知労働局では、県内すべての労働者に適用される「高知県最低賃金」を改正し、10月26日から施行することとしました。

この決定により、10月26日以降分として労働者に支払う賃金は、

1時間652円以上

としなければなりません。

問 高知労働局 賃金室

☎088-885-6024

四万十労働基準監督署

☎35-3148

障がい者の法定雇用率引き上げのお知らせ

すべての事業主は、法定雇用率以上の割合で障がい者を雇用する義務があります。

この法定雇用率が、平成25年4月1日から次のように変わり、障がい者を雇用しなければならぬ事業主の範囲が56人以上から50人以上になります。

●民間企業 1.8%→2.0%

問 高知労働局 職業対策課

☎088-885-6052

ハローワーク四万十

☎34-1155

2012 若者交流会 in 黒潮町

参加者募集【11月17日(土)締切】

にぎわいと交流を育むまちづくり
 みんなで集まろうよ!!

日時：11月25日(日) 13:30～19:00
 場所：ふるさと総合センター(入野176-2)
 内容：ゲーム、タタキ作り、懇親会など
 募集人員：男性・女性 各30名
 参加費用：男性 2,000円 女性 1,500円(当日徴収)
 参加条件：高知県在住の独身男性・独身女性で団体行動ができる20～45歳ぐらいの方
 応募方法：以下の事項をご記入のうえ郵送してください。(はがきまたは封書)
 ①若者交流会参加の文字 ②住所
 ③名前 ④生年月日(歳) ⑤電話番号
 ⑥勤務先(職業) ⑦飲酒可否
 郵送先：〒789-1901 黒潮町上川口939
 大方ライオンズクラブ事務局 金子英正 宛
 応募締切：11月17日(土)
 ※参加許可書は、申込みはがきなど到着後10日以内に発送します。

問 大方ライオンズクラブ
 ☎090-4975-3639(矢野)

■ 四万十川国際音楽祭2012
 「モーツァルト・トリオ」

藤原真理 × カントロフ × メンデルスゾーン
 (チェロ) (ヴァイオリン) (ヴィオラ)
 日本を代表するチェリスト・藤原真理さんらによる美しい三重奏をお楽しみください。
 日時：12月3日(月) 開場18:30 開演19:00
 会場：四万十市立文化センター
 入場料：指定席 3,000円
 一般 2,000円(当日2,500円)
 高校生以下 1,000円(当日1,500円)
 *音楽祭ならではの料金となっています。

■ 宝くじコンサート
 「大阪交響楽団演奏会」

指揮/佐藤俊太郎 ピアノ/近藤嘉宏
 大阪交響楽団の奏でるショパンやベートーヴェンの名曲をお楽しみください。
 日時：12月17日(月) 開場18:30 開演19:00
 会場：四万十市立文化センター
 入場料：一般 3,000円(当日3,500円)
 高校生以下 1,500円(当日2,000円)
 *宝くじの助成による特別料金となっています。

問 四万十市 生涯学習課(市立中央公民館内)
 ☎34-7311

相談

高知地方方法務局からのお知らせ

高知地方方法務局と高知県人権擁護委員連合会では、11月から12月にかけて、電話相談や相談所の開設を行います。

相談は無料、秘密は厳守しますので、お気軽にご利用ください。

◆全国一斉

「女性の権利ホットライン」

強化週間

日時 11月12日(月)～18日(日)

午前8時30分～午後7時

*土・日は午前10時～午後5時

電話番号

☎0570-070-810

*全国共通ナビダイヤル

*PHS・IP電話からは接続できません。

相談内容

DV(ドメスティック・バイオレンス)、セクシャル・ハラスメント、ストーカー、離婚問題、暮らしの悩みごとなど女性をめぐる人権問題

◆四国一斉12時間電話相談

日時 12月4日(火)

電話番号

☎0120-459-737

相談内容 差別待遇、暴行・虐待、いじめ、DVなど、家庭および近隣関係などにおける人権問題に関するあらゆる相談

※事前予約は不要です。

◆暮らしの悩みごと相談所

日時 12月4日(火)

午前10時～午後3時

※事前予約は不要です。

会場 高知よさこい咲都合同庁舎

9階 会議室(高知市栄田町2丁目2-10)

相談担当者 弁護士資格または司法書士資格を有する人権擁護委員

相談内容 差別待遇、暴行・虐待、いじめ、DVなど、家庭および近隣関係などにおける法律・人権問題に関するあらゆる相談

*黒潮町内でも「無料弁護士相談所」が開催されます。詳しくは、17ページをご覧ください。

☎ 高知地方方法務局 人権擁護課

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

088-822-3503

■第17回蜷湖まつり

～みんなが集う。みんなで彩る。～

日時：11月18日(日)

10:00～14:00予定

場所：中筋川ダム(宿毛市平田町黒川)

雨天時は、宿毛東部農村環境改善センター

※土佐くろしお鉄道「平田」駅前から

三原村方面へ向かう県道沿い

内容：堀内 佳さんコンサート、間 六口さん漫

談、ストリートダンス、プラスバンド演奏、

パネル展示(防災、環境関連)、児童絵画

作品展示、地元婦人会のうまいもの市、見

学・体験コーナー(ダム見学会、木工教室、

AED)、ふわふわドーム、自衛隊車両な

ど展示、お餅投げ・お菓子投げなど

★無料送迎バス：平田駅および梅ノ木公園駐車場

場(三原村)と会場の間を送迎します。

※詳しくは11月中旬の高知新聞折込広告でご確

認ください。

☎ 蜷湖まつり実行委員会事務局(中筋川ダム)

☎0880-66-2501

■尊良親王シンポジウム

蜷川の地に深く関わりをもつ

尊良親王について、この機会

に改めて考えてみませんか？

入場無料。

日時：11月25日(日)

9:00～12:00

場所：蜷川生活改善センター

内容：①基調講演 橋田栄澄さん(研究者)

②基調報告 金子富太さん(町教育次長)

☎ 蜷川地区長 金子幹仁 ☎44-1619



■「ブータンの笑顔」

千葉県在住写真家・関健作さんがブータンで撮

影した写真の展示と、ブータンの雑貨販売を行

います。入場無料。

日時：11月8日(木)～30日(金) 10:00～15:00

(日、月、火曜日休館)

場所：ワークギャラリー芸農人

(サンシャインami内)

※24日(土) 13:30～ギャラリートーク

(参加費1,000円、要予約)

☎ NPO芸農人 ☎090-4971-7339(矢野)

イベント・講座・サークル情報

巨大イセエビが捕れました



大きなニシキエビを捕獲した浜岡輝一さん。普通のイセエビ(左)と比べると、その大きさに圧倒されます。

10月3日、熊野浦沖で立網漁をしていた浜岡輝一さんの網に、巨大なイセエビがかりました。正式には「ニシキエビ」という南方系のイセエビで、イセエビの中では最大種とされています。九州以北の採取はまれだそうで、珍しいニシキエビを一目見ようと、たくさんの方が漁港を訪れていました。通常、佐賀地域で獲れるイセエビは200〜300gのサイズですが、この日捕れたニシキエビは重さ約2・2kg、体長は40cm以上もあり、青や黄色のカラフルな体はいかにも南から来たエビらしい姿です。浜岡さんは、「小さいニシキエビが揚がったことはあるが、こんなに大きいのは初めて」と驚いていました。

入野駅で元気が出るイベント

大方高校2年生が総合学習の地域課題解決学習の中で、高知黒潮若者サポートステーション（黒潮サポステ）と一緒に「元気になるイベント in 土佐入野駅」を企画し、10月14日の鉄道の日に合わせて、駅前で「第1回入野ストリートユースフェスティバル」を開催しました。イベントは、在校生を対象に行ったアンケートで、回答の多かったライブ・ダンスを中心に、子どもからお年寄りまで世代を超えて楽しめる内容を目指しました。

当日は、地元高校生や、黒潮町、四万十市西土佐などから9組が出演し、スーパーバンドもゲスト出演。駅周辺には出店が並び、訪れたお客さんはおいしいものを食べながら、若者との交流を楽しみました。



若者の熱気があふれる「元気になるイベント」が、大方高校×黒潮サポステのコラボ企画として開催されました。

「はたフェス」今年も四万十

9月15日、四万十市入田河川敷で「はたフェス2012 in 四万十」が開催されました。昨年9月の四万十市、今年5月の黒潮町に引き続き3回目。幡多地域の食材を使った食べ物や特産品、工芸品など約100店が並び、ステージでは、ダンスやライブが披露され、サッカー場では少年サッカーも開催されました。午後から大雨に見舞われ、テントの足元が浸水したり、イベントが中断するなどのトラブルもありましたが、雨が上がりると再開。約8000人が訪れ、自然や文化を堪能しました。

黒潮町からは、カツオのタタキ、カツオたたきバーガーなどのご当地グルメや、佐賀北部地域協議会の若山楮ワークショップなどが出店し、多くの方が楽しめました。



上・黒潮町ブースにカツオ人間登場！
下・和紙を張った手作り竹ドーム。

大方高校が教育奨励賞を受賞

10月1日に「第27回時事通信社教育奨励賞（文部科学省後援）」が発表され、大方高校が全国で2校の優秀校に選ばれました。大方高校が平成17年度の開校当初より行ってきた「自律創造型地域課題解決学習」という、地域の人から与えられた課題（ミッション）の解決策やアイデアを提示する地域参画型の取り組みが評価されたもので、これまでこの授業では、「黒塩」や「カツオたたきバーガー」などのユニークな特産品が生まれています。

優秀校には表彰状と記念品のほか、副賞100万円が贈られました。同校では、この100万円を総合学習や地域との交流などに使い、地域に還元していきたいとのことでした。



昨年12月のアイデア発表会の様子。毎年大方高校の2年生が、地域の方々と協力していろんな課題に取り組んでいます。

ぎふ国体で町内選手が活躍

9月29日から10月9日まで岐阜県を中心に開催された第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」において、黒潮町在住の選手が高知県代表として出場しました。

◆弓道(少年男子)

山下 篤さん(宿毛工業高校熊井)



弓道少年男子は、山下くんら高校生3人が出場(団体は団体戦のみ)。四国大会では遠的・近的ともに1位の総合優勝を果たし、国体では少年遠的において4年ぶり2度目となる日本一に輝きました。優勝おめでとうございます。

◆ボウリング(成年女子)

山沖未来さん(株サワチカ・出口)



ボウリング成年女子は、四国予選を突破し、高知国体以来10年ぶりの出場。団体・個人とも予選敗退でしたが、力を出し切りしました。山沖さんは「また出場したい」と話していました。

中村駅まつりに出展したよ

9月29日、中村駅まつり実行委員会などが主催する「第8回中村駅まつり」が開催され、会場の中村駅には雨天にもかかわらず大勢の方が訪れにぎわいました。

この事業の一環で沿線保育園児による汽車のぬりえ「ぼくのわたしのオリジナルれっしゃ」展を中村駅待合室へ展示しました。黒潮町からは南部保育所の年長・年中の園児が出展し、中村駅まつりをにぎわしました。

作品は、12月中旬まで黒潮町ラッピング列車内に展示されます。



ぼくの わたしの オリジナルれっしゃ



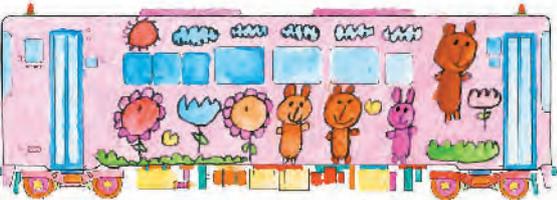
金子 竜也くん (6才) 南部保育所

「虹色の電車です。くわがたとかカブトムシとかが木のみつをすいに来ちょう絵を描きました。」



伊藝 もなみちゃん (6才) 南部保育所

「くまとうさぎがお花畑で遊びよう絵を描きました。」



松本 十凜ちゃん (6才) 南部保育所

「お花の電車に乗ったことがないけん乗りたいと思いました。うさぎとくまが一緒にお花を見ている絵を描きました。」



佐野 将麻くん (5才) 南部保育所

「魚が海でおよぎよう絵です。えさがないかって探しようところです。」



三好 勇斗くん (6才) 南部保育所

「海草とコンブの所にお魚が集まって友達と話をしよう絵を描きました。」



カツオとひらひらでつながった「気仙沼Tシャツアート展」

10月6日(土)～8日(月)、黒潮町とカツオと通じて縁のある宮城県気仙沼市で「気仙沼Tシャツアート展」が開催されました。NPO砂浜美術館とまちづくりマーケットプロジェクトによる「気仙沼∞黒潮逢縁(おうえん)プロジェクト」の一環。裏にカツオの塗り絵、表に気仙沼市内の小学生のデザインを印刷した「気仙沼っ子カツオ元気Tシャツ」600枚のほか、お気に入り写真Tシャツ147枚やワークショップTシャツ、アーティストTシャツなど、合計約800枚を市内5会場に展示。期間中は、黒潮町からバスで現地入りした漁協女性部と大方高校生が、各会場と気仙沼朝市を巡回し、カツオのたたきとカツオたたきバーガーをふるまいました。気仙沼市ではカツオは刺身で食べるのが一般的で、「カツオのわら焼きを初めて見た」というお客さんも。また大方高校生は、宮城県気仙沼向洋高校と一緒にバーガーをふるまったり、被災した校舎を見学するなど交流を図りました。

(写真) 1：岩井崎 2：南町紫市場 3：巡回キャラバン 4：受賞者表彰式 5：気仙沼横丁 6：東新城かもめ通り



気仙沼∞黒潮逢縁プロジェクトに参加して

高知県立大方高等学校 3年 山沖静奈

10月なのに寒い、私が気仙沼でまず感じたことです。震災のあったあの日は、きっと想像できないくらい寒かったんだと感じました。

町の中は、まだ、がれきやコンクリートの土台しかない所などがたくさんありました。被災した向洋高校は、車やがれき、魚の死骸などが落ちていて、ただただ怖かったです。



一緒に明るく活動していた向洋高校生が、当時は「人間が一番怖かった」というのを聞いて、災害はそれほど人間をおかしくしてしまうんだと思い、悲しくなりました。

また、地元の人たちの温かさにも触れました。飲み物や温かい食べ物を持って来てくれ、「本当にありがとう。」と言ってくれ、現地に行って支援することの大切さを学びました。



黒潮町も必ず地震が来ると言われています。今自分にできること、この経験を伝えていくことを精一杯しようと改めて思いました。気仙沼に行けて、本当によかったです。これからも交流を続けていきたいと思えます。



図書館カレンダー

(●)の日は休館日です。

大方図書館



11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

佐賀図書館

11月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8

12月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8

第50回大方の秋まつり開催

第50回大方の秋まつりを下記のとおり開催します。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

【日時】11月10日(土)・11日(日)

【内容】10日:美術展、お茶会

11日:美術展、お茶会、舞台芸能、出店 など
※詳細は、別途配布のチラシでご確認ください。

【会場】ふるさと総合センター、大方あかつき館 他

【主催】大方の秋まつり実行委員会

※10日は「こども防災フェス2012」を同日開催。

○お問い合わせ

文化振興係(大方あかつき館内) ☎43-2110

あたらしくはいった本紹介

- ノエル 道尾 秀介/著
- 震える学校 山脇由貴子/著
- 40歳からの女性ホルモンの高め方
- おべんとうのちいさなおかず 市瀬 悦子/著
- 萩原博子の金持ちの老後 貧乏の老後 萩原 博子/著
- 幸福な田舎のつくりかた 金子 弘美/著
- 週末で編める! 太糸で編むアラン模様のこもの
- ハウスキーピング クウネルおうち仕事課
- みんなのこびと なはたとしたか/著
- くろくんとふしぎなともだち なかやみわ/著

◆開館時間
【大方図書館】
火～金 午前10時～午後6時
土・日 午前10時～午後5時
【佐賀図書館】
月～金 午前10時～午後6時
※午後1時～2時まで閉館

◆貸出冊数・期間
本 一人5冊・2週間
雑誌 一人3冊・2週間
ビデオ・CD・DVD 一人2点・1週間

◆返却期限は必ずお守りください。
返却期限を過ぎると督促を行います、その後貸出停止の処理を行います。

★借りた本やビデオなどを紛失や破損した場合は、弁償していただく場合があります。

◆返却するとき
大方・佐賀どちらの図書館でも返却ができます。
休館日に返却する時は、各図書館にあるブックポストに入れてください。
ビデオ・CD・DVDは、できるだけ開館時の受付窓口へ返却してください。

◆お問い合わせ
大方図書館 ☎43-0120(直通)
佐賀図書館 ☎55-3150(直通)
<http://akatsuki.town.kurosaki.lg.jp>

〈水道給水工事指定店 当番一覧表〉

月	日	大方地域	佐賀地域
11	12～18	中村住設大方営業所	道 倉 水 道 (株) 土 居 建 設
	19～25	前 田 電 工	(有) 弘 瀬 建 設
	26～30	吉 本 水 道	山 本 建 設 (株)
12	1～2	吉 本 水 道	河 野 電 機 設 備
	3～9	大方設備センター	野 村 企 画 設 備
	10～16	中村住設大方営業所	道 倉 水 道 (有) 弘 瀬 建 設

●当番店の連絡先・所在地 ※当番日以外でも要請があった場合には対応します。

店 名	電話番号		住 所	店 名	電話番号		住 所
	事務所	自 宅			事務所	自 宅	
大方設備センター	43-1420	43-1483	入野769	吉 本 水 道	43-2024		入野544-4
河野電機設備	43-1022		入野2878	拳ノ川住設	55-7371	55-7114	拳ノ川1781
中村住設大方営業所	43-0211	43-2061	出口372-2	谷 口 水 道	55-2316		佐賀2773
野村企画設備	43-4665		田野浦1593	(株) 土 居 建 設	55-2133	55-2363	伊与喜43-5
平野住設	44-1513	44-1117	伊田2100	(有) 弘 瀬 建 設	55-2121		佐賀1990
前田電工	43-1149	43-1546	入野1574	山 本 建 設 (株)	55-3141	55-2076	佐賀2988
道 倉 水 道	43-2096		浮鞭3558-8				

○お問い合わせ 本庁 まちづくり課 水道係 ☎43-2114(直通)

くろしおっ子を紹介します！

町内在住の子どもたちを、お家の方からのメッセージといっしょに紹介します。



西脇 魁来くん
 〈平成23年10月20日生まれ〉
 明るく元気にすくすく育って
 ね。 〈ママ・パパより〉



野村 春羽ちゃん・野村 美羽ちゃん
 〈平成24年5月14日生まれ〉 〈平成22年5月14日生まれ〉
 ご飯をいっぱい食べて大きくなってね。
 〈とっと・かつかより〉



谷 吏乃ちゃん・谷 琉叶くん
 〈平成24年4月2日生まれ〉 〈平成21年7月26日生まれ〉
 元気が一番！！笑って、泣いて、大きくなーれ♡
 〈パパ・ママより〉



永森 心結くん
 〈平成24年3月5日生まれ〉
 わが家の三男坊、たくましく元
 気に、お兄ちゃんたちと仲良
 く大きくなってね！〈ママより〉

【写真募集中！】子どもたちの成長の記念に写真を掲載してみませんか？
 左記まで写真（デジタルカメラの場合はデータ）とメッセージをお寄せください。
 ○お問い合わせ 本庁総務課企画振興係

☎43-2177（直通）
 ✉somu@town.kuroshio.lg.jp

地域子育て支援センター通信

木々の葉っぱも色づき秋の深ま
 りを感じる季節となりました。
 これから少しずつ寒くなってきた
 ますが、寒さに負けないじょうぶ
 な身体づくりをしていきましょう。

11月の予定

★おでかけ広場

午前9時30分～11時30分

●7日（水）馬見学（10時集合）

●集合場所／道の駅ヒオスおおがた駐車場

●13日（火）作って遊ぼう

●場所／佐賀保育所

★いっしょに遊ぼう

午前9時30分～11時30分

●7日（水）馬見学（10時集合）

●集合場所／道の駅ヒオスおおがた駐車場

●14日（水）誕生会

●28日（水）作って遊ぼう

●場所／子育て支援センター

★第4回『子育て講座』

●21日（水）午前9時30分～11時30分

●場所／大方中央保育所 遊戯室

●内容／親子で楽しむ運動遊び

●講師／運動の家庭教師

●別所祐之介さん

○お問い合わせ

地域子育て支援センター
 （大方中央保育所内）

☎43-0512（直通）

こども★防災フェス 2012 現場のプロが教えます！

プロの力魅せます！

日時／11月10日（土） 9:00開場 9:30開始 15:00終了
 場所／黒潮町入野 土佐西南大規模公園体育館 （雨でもやるよ）

◆9:30～10:30 防災講演会

「アメリカの防災教育～今までと違う新しい考え方を学ぼう～」

講師／米海軍日本管区司令部消防隊予防課長 長谷川祐子 氏

◆消防団が教える防災教室 ～身の回りの物で物作り～

◆消防・自衛隊デモンストレーション ◆お仕事体験 ◆171伝言ダイヤル体験 ◆自衛隊カレーの炊き出し

◆日赤の災害用仮設診療所・消防はしご車・土石流3D体感シアター・降雨体験装置・起震車が来るよ！

ぜーんぶ こどもも大人も一緒に学べます★こどもはスタンプラリー形式になります



○お問い合わせ 幡多中央消防組合 こども防災フェス担当 ☎34-5881